



月脚 達彦 (TSUKIASHI Tatsuhiko)

東京大学大学院総合文化研究科 教授

東京外国語大学朝鮮語学科卒業、
東京都立大学大学院人文科学研究科単位取得退学。
文部省アジア諸国等派遣留学生として韓国・ソウル大学留学
(1990-1992年)。

東京外国語大学助手・専任講師・助教授、東京大学大学院総合文化研究科准教授を経て、2012年から現職。

専門は朝鮮近代史。19世紀末から20世紀初頭にかけての朝鮮開化思想についての考察。特に国民国家、ナショナリズムの形成に焦点を当てて、文化史・社会史の観点からも研究している。また、最近は近代日本のアジア認識について研究を進めている。

著書に『朝鮮開化思想とナショナリズム』(東京大学出版会、2009年、韓国版〈崔徳寿訳〉『朝鮮の開化思想とナショナリズム』2014年)、『福沢諭吉と朝鮮問題』(東京大学出版会、2014年)、『福沢諭吉の朝鮮 日朝清関係のなかの「脱亜」』(講談社選書メチエ、2015年) 共編に『大人のための近現代史 19世紀編』(東京大学出版会、2009年、韓国版〈カン・ジナ訳〉『見なおす東アジア近代史』2011年)、訳注に『朝鮮開化派選集 金玉均・朴泳孝・兪吉濬・徐載弼』(平凡社、2014年) などがある。